

人生100年時代といわれておりますが「2025年問題」や「地域包括ケアシステム」という言葉をご存知でしょうか。2025年にはいわゆる「団塊の世代」が後期高齢者となり、実に国民の約30%が65歳以上（高齢者）となる。その高齢者一人を1・9人の生産年齢（15歳以上65歳未満）の人が支える時代が目の前に来ているということです。国はこうした状況を踏まえ、「地域包括ケアシステム」という新たな地域社会システムを打ち出しました。



小嶺 衛

厚生労働省においては、25年をめどに高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支

厚生労働省においては、25年に提供される仕組みです。市町村や都道府県が、地域の自立性や主体性に基づき、地域で暮らす私たち個々人と、それを取り巻く地域社会が、

「令和2年版高齢社会白書」では65年には人口は約880万人に減少すると予測されています。年少人口は898

万人に減少し、老人人口は381万人に達します。平均寿命は男性84・95年、女性91・35年に到達し、人口構造の高齢化は生産年齢人口の減少も加わりさらに複雑化すると予想されています。

援・サービス提供体制の構築を推進しています。これは、「自助」「互助」「公助」による、地域を基盤として社会を支えていく究極の考え方です。住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的

すべてを「わがこと」として互いに助け合う社会の実現が望まれています。さらに40年には第2次ベビーブームに生まれた社会における地域の基盤が、コロナ禍で全世界が混乱の渦の中、今まさに、もうひとつ人類が今まで経験したことのない未知の社会の到来が目の前に来ているのです。

地域共生社会の実現に向けて

## 包括ケアシステム構築を

厚生労働省においては、25年をめどに高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人

生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支

厚生労働省においては、25年に提供される仕組みです。市町村や都道府県が、地域の自立性や主体性に基づき、地域で暮らす私たち個々人と、それを取り巻く地域社会が、

「令和2年版高齢社会白書」では65年には人口は約880万人に減少すると予測されています。年少人口は898万人に減少し、老人人口は381万人に達します。平均寿命は男性84・95年、女性91・35年に到達し、人口構造の高齢化は生産年齢人口の減少も加わりさらに複雑化すると予想されています。

援・サービス提供体制の構築を推進しています。これは、「自助」「互助」「公助」による、地域を基盤として社会を支えていく究極の考え方です。住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的

すべてを「わがこと」として互いに助け合う社会の実現が望まれています。さらに40年には第2次ベビーブームに生まれた社会における地域の基盤が、コロナ禍で全世界が混乱の渦の中、今まさに、もうひとつ人類が今まで経験したことのない未知の社会の到来が目の前に来ているのです。

（浦添市、沖縄県理学療法士協会会長、58歳）

## 論壇

厚生労働省においては、25

年に提供される仕組みです。市町村や都道府県が、地域の自立性や主体性に基づき、地域で暮らす私たち個々人と、それを取り巻く地域社会が、

「令和2年版高齢社会白書」では65年には人口は約880万人に減少すると予測されています。年少人口は898

万人に減少し、老人人口は381万人に達します。平均寿命は男性84・95年、女性91・35年に到達し、人口構造の高齢化は生産年齢人口の減少も加わりさらに複雑化すると予想されています。

（浦添市、沖縄県理学療法士協会会長、58歳）

の本懐であります。

かつてわが国では、地域や家族が助け合い、支え合って生きていました。近年はこうした支え合いの社会基盤が弱まっていました。さまざまな制度や分野という関係を超えて、地域住民が垣根を越えて参加し住民一人一人が地域と共に創っていく「地域共生社会」の実現が望まれています。

（浦添市、沖縄県理学療法士協会会長、58歳）